

<肝臓内科>

一般（教育）目標

消化器内科一般の基本的診療の基礎を身につけるとともに、肝臓疾患の病態と治療について学ぶ。B 型、C 型ウイルス肝炎を中心とした急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変症、肝細胞癌の臨床的なマネジメントが行えることを、目標とする。また、地域包括ケア病棟でのケアミックス医療により種々の肝疾患における体液管理や筋力・栄養状態の改善を経験し、包括的に管理できるようにする。

（具体的）行動目標

(1) 病態の把握

肝疾患患者の現病歴、既往歴、家族歴、生活歴の聴取から病態の把握を適切に行える

(2) 診察・検査

肝疾患の病態を評価するための診察（理学的所見）を自主的に行う

行われた検査（採血データ、腹部超音波検査、腹部 CT 検査、腹部 MRI 検査、腹部血管造影検査、上部消化管内視鏡検査など）の評価することができる

(3) 治療

患者の病態、病気に対する治療を理解し行うことができる

特に

- ・ウイルス性肝炎に対する診断と抗ウイルス療法
- ・慢性肝炎、肝硬変症に対する治療（抗ウイルス療法以外の治療）
- ・非代償性肝硬変症、肝不全患者の全身管理
- ・肝癌の治療と治療後の管理
- ・治験の意義を理解し導入について見学する（について学ぶ）

学習方略（1）

- (1) 指導医・上級医の指導（man to man method）のもとで入院患者の診察を行う。受け持ち患者数は 10 人前後とする
- (2) 週 2 回の部長回診に参加し症例提示を行う
- (3) 指導医・上級医の指導により肝疾患の検査や治療を自主的に計画し行う

学習方略（2）勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 指導医・上級医の指導により開催される講義・勉強会に出席する（週 1 回）
- (2) 抄読会に出席し最新の肝臓病の情報を把握する（週 1 回）また自ら英語論文を読み、その要約のプレゼンテーションを行う（2 ヶ月間に 1 回）

(3) 学会に参加し医学的な発表や討論について学ぶ。また学会における当院の状況を把握する

(4) 医学における統計学的解析を学ぶ

週間予定（例）※他に他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
朝	抄読会				
午前	回診 病棟業務	腹腔鏡 内視鏡 病棟業務	内視鏡 病棟業務	回診 病棟業務	内視鏡 病棟業務
午後 1	CT 病棟業務	血管造影 ラジオ波 CT 病棟業務	CT 病棟業務	血管造影 CT 病棟業務	腹腔鏡 血管造影 ラジオ波 病棟業務
午後 2	超音波 病棟業務	超音波 病棟業務	超音波 病棟業務	超音波 病棟業務	病棟業務
午後 3	病棟業務	病棟業務	病棟業務	講義 病棟業務	病棟業務

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること